

企画展「謎の深山焼

暮らしの十王焼

.. 江戸から昭和の焼物」

同時開催：梅津五郎通常展 [6]

いつ 3月1日(木)

～ 4月8日(日)

▼どこで ギャラリー1

▼観覧料 一般200円

高校生以下無料

(梅津五郎通常展 [6] と共通)

白鷹町でかつて作られていた

た深山焼と十王焼。

深山焼は江戸時代後期に生産された焼物で、置賜地方ではほとんど作られていない、装飾の強い皿・碗・土瓶を生産していた特殊な窯です。なぜか短期間で窯を閉じたために遺された完品はなく、発掘調査で出土した陶片があるのみです。現在はこれらの陶片のイメージを元に再興がなされ、新たな作品が生まれています。

一方、十王焼は江戸時代後期から昭和27年まで日用雑器中心に作られたもので、以前は「瀬戸山」と呼ばれていま

▼対象 小学生以上  
十王焼の代名詞ともいえるすり鉢。その雰囲気似た小型版(直径12cm程度)を制作します。実際にゴマをすったりするのに使えます。

●梅津五郎通常展 [6]  
いつ 3月1日(木)  
～ 4月8日(日)

▼どこで ギャラリー2

▼観覧料 一般200円

高校生以下無料

(謎の深山焼 暮らしの十王焼 と共通)



▲《北国の春雪》1979

講演会

「深山焼と十王焼について」

いつ 3月18日(日)

午後2時～3時30分

▼講師 高橋拓さん

(東洋陶磁学会会員)

▼料金 無料。ただし当日の観覧券が必要。申込不要。

陶芸ワークショップ

十王焼風の

ミニすり鉢を作ろう!

いつ 3月24日(土)

午後2時～3時30分

分

▼講師 金田利之さん

(深山工房つち団子)

白鷹町文化交流センターAYU:M

TEL. 85-9071 FAX. 85-9072  
E-mail. shirataka@ayu-m.jp  
URL. http://www.ayu-m.jp/

開館時間

午前9時～午後5時 ※夜間のご予約がある場合は午後10時まで(ギャラリーを除く)。

4月までの休館日

3/12(月)・19(月)・26(月)  
4/2(月)・9(月)・16(月)・23(月)

4月から  
夜7時閉館  
になります。

くらしの101

知識

裁判所に訴訟を起す?

架空請求はとにかく無視!

▼事例

「以前契約した訪問販売及び寝具販売業者に対して未納料もしくは契約不履行があり当該会社が裁判所に訴訟を起した」といった内容の報告が届いた。

全く身に覚えがないが「このまま連絡せずに放置すると裁判所に出廷することになり、給料や財産が差し押さえられることもある」などと書いてある。覚えがない場合は早急に連絡するよう赤字で書かれているが連絡すべきだろうか。(80歳代 女性)

■アドバイス

「絶対に連絡してはいけません!」

はがきや電子メールなど身に覚えがない請求をする、いわゆる「架空請求」です。

「訴訟を起した」「給料や財産を差し押さえる」など、過去に未払いがあったのかと勘違いさせる言葉を並べ、不安にさせる手口です。

「早急に連絡してください」などと書かれていても、絶対に連絡してはいけません。連絡したところ、「訴訟取り下げのために必要」などとさまざまな理由をつけられ数十万円を請求されたケースもありますので気をつけましょう。

■問い合わせ

町民生活センター  
(☎ 85-6131)

町民課くらし環境係